

8月25日(月)

試みに会われた私たちの大祭司

聖書朗読 ヘブル 4:12~16

私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯されませんが、すべての点で、私たちと同じように、試みに会われたのです。

ヘブル 4:15

この考えに、私たちは鼓舞されます。主イエス・キリストは、私たちの大祭司なのです。しかしイエス様は、力ある高僧として、私たちの上で威張っているわけではありません。イエス様も私たちの内の一人であり、また、天国の一人でもあるのです。イエス様なしには、何もなされることはありません。私たちが試みにあつてきたのと同じように、イエス様も試されたのです。

飢えたり、疲れきったりと、キリスト・イエスはサタンによってふるいにかけられました。サタンが今日、私たちを試みに会わせるように、イエス様もその試みに3回会いました。最初に、サタンは聖書の引用をもって、イエス様の肉体の欲望を試しました。イエス様はご自身の聖書からの引用をもって、サタンに応答しました。そして、サタンは負けました。

それからサタンは、目の欲望を使いました。再び聖書を引用して、イエス様に対決しました。サタンが引用した聖書は、不完全な内容で侮辱的なものでしたが、悪魔はこのようなことを得意としていました。しかし今回も、イエス様はご自身の聖書の引用をもってお答えになり、うそつきのサタンを退けました。

サタンはあきらめませんでした。サタンは、もこの世の支配者としてのプライドから、神さまの生ける息子であるイエス様に、勝ちたかったのです。しかし主は、またもや、うそつきの中のうそつきであるサタンの言葉に、打ち勝ちました。あらゆる方法で、私たちの救い主は試されました。そして、全く傷つきませんでした。そのことが、私たちに希望を与えてくれます。

讃美歌 第二編 88

祈り 親愛なるお父様。この話を通して与えられる希望に、感謝します。私たちが試みに会うときには、御ことばにしっかりと立つことができるように祈ります。あなたの聖霊で私を満たし、悪魔に抵抗する強さをください。

スティーブン・クラーク・ゴード
カリフォルニア州 ブライゼ

今日の力

2014年8月25日～8月31日

翻訳 海澤弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

8月26日(火)

私たちは共にキリストの中に

聖書朗読 コロサイ 3：1～11

なぜなら、私たちはみな、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つのからだとなるように、一つの御霊によってバプテスマを受け、そしてすべての者が一つの御霊を飲む者とされたからです。 Iコリント 12：13

キリストの身体には、多くの国の多様な文化からの信者たちが、一緒に住むことができます。そこであなたは、多分、私が感じるのと同じようなチャレンジに向かい合わなければならないことでしょう。それは、キリストを信じ見つめていること、そして仲間の信者たちを批判したい誘惑に抵抗することです。人を批判すれば、自分自身の精神を弱めることになります。私がイエス様を見ていないときは、私は道の真ん中にいて、他者は端っこにいます。私は正しく、他者は間違っています。私はイスラエル人で、他者はギリシヤ人です。私は自由人であり、他者は奴隷です。私には発言権がありますが、他者にはありません。こういう考えを持つとは、何と恥ずかしいことでしょう！

今日の朗読の中でパウロは、自分と違う者たちを批判しようとする態度について、指摘しています。パウロは、私たちが他者とキリストの身体の中にいるとき、その根本的な違いについてどのように考えるべきかを教えています。そして、私たちが他者をどのように扱うべきかについても教えています。

もしキリストが、人種や宗派を超えて世界中の人々の心に根を下ろすなら、私たちはキリストに、まず、私たちの中に根を下ろしてくださるようにお願いしなければなりません。そして、一旦根を下ろしていただければ、私たちはキリストがどこにいるのかが分かるようになります。それは神様の真横です。

讃美歌 第二編 159

祈り 主よ。私たちがあなたを見ることよりも、自分たちを他人と比較しようとするときには、赦してください。あなたの愛と恵みをもって他人を見ることができるように、あなたの目を与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

スティーブン・S・レムリー
編集者

8月27日(水)

もう一度？

聖書朗読 ヨハネ 21：1～14

しかし、もしこの肉体のいのちが続くとしたら、私の働きが豊かな実を結ぶことになるので。 ピリピ 1：22

彼らは本当に一生懸命働きました！ 彼らは30年間伝道の仕事をし、子どもたちを育て、言語や文化や料理を学んで戻ってきたのです。彼らは苦労しながら、教会や学校を建てました。孤独や失望や抗争に耐えました。そしてついに、彼らは笑い、喜び、満足しました。彼らの経験は、本にすることができるほどです。

イエス様は、一晚中魚を捕獲しようとして疲れきった弟子たちに、言いました。「あなたの網をもう一度投げなさい」。

彼らは、再び網を投げました。人の心を捕まえるためには、イエス様が必要です。弟子たちは、大学やコーヒーショップや病院や教会で、人々に出会います。人々の話を聴き、励まし、笑い、学び、歓迎します。彼らの網は大きく広がっています。何がかかるかはわかりませんが！ たとえ何を捕まえようと、神様がくださるので、それは良いものと分かっています。

神様は私たちをお呼びになり、私たちがどこにしようとも、神様のご意志を行うことができるようになさいます。神様が、私たちの人生に、実りをくださらない時はありません。私たちはただ、新しいチャンスを見つける、新しい方向を聞く、謙虚にもう一度やってみる、という意志が必要なだけです。

神様が私を創造した

神様へしっかりと奉仕しよう、

この奉仕は私に与えられたものだから。

—— ジョン・ヘンリー・ニューマン

讃美歌 338

祈り すべての時代のお父様。私たちが疲れたときには、新しい展望をください。あなたお一人だけがくださることのできる「もう一度」に感謝いたします。

イエス様の御名において。アーメン。

エミリー・Y・レムリー
編集者

8月28日(木)

主を待ち望む者は

聖書朗読 創世記 17:17~22

しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、驚のように翼をかけて上ることができる。走ってもたゆまず、歩いても疲れない。
イザヤ 40:31

あなたは、自分が主の「待合室」にいると分かっていますか？ そこで、神様からの応答をいつでもお待ちしていますか？ 私は、47年間住んだ場所から、新しい市に引っ越したところです。それは大変です。友情は一晚では育ちません。多くの涙をながし、一日一日、やり過ごすための助け、神様に求めました。静かに過ごしながら、私はイザヤ書のこの節を思い出しました。神様は私たち待ち望んでいるすべての者へ、語りかけてくださいます。

「待合室」にいる間、私たちの信仰はより強くなり、神様への愛が増します。聖書の中には、神様からの答えを待ち望んだ民についての例が、本の隅から隅まで記されています。もし私たちが信仰を保つなら、素晴らしいことが待っていると、御ことばは私たちに語っています。もし、あなたが「待合室」にいるならば、しっかりと、信仰を保ってください。まもなく、あなたは驚のようにそら高く舞い上がるでしょう。

*私たちのこころ、私たちの希望、すべてはあなたと共にある
私たちのこころ、私たちの希望、私たちの祈り、私たちの涙
私たちの信仰は、恐怖にまさって、意気揚々としている
すべてはあなたと共に——すべてはあなたと共に！
—————ヘンリー・ワズオース・ロングフェロー*

讃美歌 280

祈り 親愛なるお父様。あなたの約束に感謝します。あなたの堅固な愛に感謝します。私たちが待っている間にあきらめることのないようにしてください。待っている間、あなたの仕事のために、私たちを使ってください。
イエス様の御名によって。アーメン。

クリスティ・ジョンソン
アラバマ州 ハンツビル

8月29日(金)

私の杯は、あふれています

聖書朗読 創世記 24:57~67

私の頭に油を注いでくださいます。私の杯は、あふれています。 詩篇 23:5

サラは死にました。彼女の死は、息子イサクの心にぽっかりと穴を開けました。神様は、イサクには妻が必要と思い、妻を与えました。神様は私たちが必要なものをご存知で、私たちの心の願いをかなえてくださいます(詩篇37:4)。

神様は、私の娘にはっきりとその愛を注がれました。娘とその夫が新しい州の新しい教会に移ったときのことです。娘の最良の友であり、相談相手でもある祖母が、亡くなりました。その死は、娘の心にぽっかりと穴を開けました。悲しみに加えて、祖母はひ孫の誕生を見ることができなかったのです。赤ん坊は祖母の死から2週間後に生まれ、祖母の名前にちなんで名づけられました。

しかし、神様は与えられます。新しい教会の最初の日曜日の礼拝で、娘はミリーという老齢のクリスチャン夫人に出会い、祝福されました。ミリーは、祖母とまるで双子のように似ていました！ 彼女の服の好み、体つきやマンネリズムが同じでした。娘とミリーは瞬間的にお互いに惹きつけられました。お互いの類似点のなかで、最も驚くことは、その老婦人の名前が、私の娘の子どもの名前と同じだったことです！

神様は私たちの心の痛みに気づかれます。私たちの心の空虚さに。私たちのさびしさに。神様は私たちの杯を、祝福で満たしてください。神様はイサクにレベカを与えました。神様は今でも与えてくださいます。

讃美歌 525

祈り 驚くほどすばらしき、聖なるお父様。あなたは私たちを何と愛されていることか。あなたが私たちの日々をなんという喜び、そして恵みをもって満たしてくださることか。

イエス様の御名において感謝します。アーメン。

キャロル・ローデス
コロラド州 プエブロ

8月30日(土)

神様はモーセたちを呼んだ

聖書朗読 出エジプト記 3:1~17

しかし、わたしの願いではなく、みこころのとおりにしてください。

ルカ 22:42

そのとき、モーセは神様に言いました。『私はいったい何者なのでしょう。パロのもとに言ってイスラエル人をエジプトから連れ出さなければならないとは。』(出エジプト3:11)。神様はどんな人をご自分の仕事をするためにさがしておられるのでしょうか？ 自分のすべきことが分かっていて、自信があつて、熱意があつて、心の準備ができている人？ モーセは、おそらく、神の民を救い出すために、神様が自分を使われるとは、夢にも思わなかったに違いありません。

しかし、神様は、世から完全に離れてひっそりと暮らしている男を選びました。神様は、神様によって与えられた仕事だから、それをやり遂げようという意志のある人を求めています。その仕事に適しているという理由で人を選ぶものではありません。「モーセのようにおくびょうな」というのは、とても誇張した表現ですが、神様はそんな人をご自分の最良のしもべとなさいます。

私は泣き叫んだ――

いいえ、主よ、私はその仕事には向いていません。

主が答えた――

しかし、必ず私はあなたと共にいよう。

私は、答えた――

それでは、私の主よ、私をあなたに捧げます。

讃美歌 第二編 158

祈り 親愛なる主よ。私たちは決して十分な者ではなく、あなたによって十分な者になるということを、私たちが忘れないようにしてください。私たちがあなたのご意志を行えるように強めてください。

イエス様の御名において。アーメン。

メアリー & ウェイン・エステス

カリフォルニア州 サウザンドオークス

8月31日(日)

夜明け前が、最も暗い

聖書朗読 出エジプト記 5:10~23

貧しい者は決して忘れられない。悩む者の望みは、いつまでもなくなるらない。

詩篇 9:18

彼女の曾祖母は奴隷として生まれ、それで、彼女の祖母も奴隷で、彼女の母も奴隷で彼女も奴隷でした。今でさえ、彼女は自分の娘に奴隷の人生よりましな人生を与えることができない、という事実で苦しんでいます。彼女の娘の血に、長い間受けつがれてきた祈り――なぐさめ、力、そして何より、自由への祈りがこめられています。唇からの祈りは弱まり、目は探すのに疲れ、ストレスから耳鳴りがし、神様からは何の言葉もなく、救出のしるしは何も無く、――今までは。

モーセが砂漠から戻ったとき、奴隷たちの人生を包み込んでいた暗闇に、一筋の望みがやってきました。神様は本当に彼らの叫びを聞かれたのでしょうか？ この羊飼いが本当にファラオに対抗できるのでしょうか？ ついに、自由への希望を持っても安全なのでしょうか？

明らかに、ノーです。希望が大きくなればなるほど、失望も深くなります。藁なしのレンガ。いったい何ができるというのでしょうか？

しかし、ヘブル人の奴隷たちが待ち望んでいた救出が、実際に行われたことを、私たちは知っています。結果は明らかです。しかし、私たちが最も暗い闇の中にいるとき、私たちは信仰によってそれを見通すことができるのでしょうか？

私たちは今でも罪人で、死人としてまだ暗闇にいますが、もしも、私たちがそれを見るための目をもっているなら、お墓を空っぽにすることができるのです。

讃美歌 326

祈り ああ主よ。私たちをエジプトから連れ出した神様、私たちの命無き肉体に命を与えてくださった方、あなたの救いを、この私たちが生きている間に見ることができるよう。

イエス様の御名において。アーメン。

ドリュー・ベイカー

テキサス州 オースティン